鹿児島市立桜丘中学校
令和4年1月21日

第10号

新年明けた今、桜は？

校長　上久保大介

本校の学校名は**桜丘中学校**です。**「何を今さら？」**と、お思いでしょうが、私はとても**気に入っている名前**です。日本では国花は定められていません。ですから、桜は菊と同様に正式な国花として定められているわけではありませんが、**日本を代表する花**として国花並みに日本国内や外国からも広く認知されています。１０年くらい前までは、桜は必ず入学式の日に咲いていました。４月になって「今年は咲かないのかな？」と思わせていて、当日は満開になる。これが毎年のことで実に不思議でした。不思議でいて当たり前でした。温暖化の昨今は、開花の時期が少しだけ早まっている気がしますが、春になると一斉に咲く桜は日本の代表的な美しい風景の一つだと思います。

さて、そんな桜ですが、**寒い冬、桜はいったいどのように過ごしているのでしょう。**この時季、桜の木の枝を見てみると、全体に小さな**“つぼみ”**をたくさんつけているのが確認できます。この**“つぼみ”**はいつできたのかというと実は、**前年の夏**にはできあがっていたんです。そのあと、秋から休眠状態に入り、**冬の寒さにさらされる**ことにより、**開花に向けた生長が促される**のです。**一見嫌われそうな冬の寒さは、桜の生長にとって経験しなければならないこと**なのです。

つまり、桜は**寒い冬をただひたすらにじっと耐え**，しかしその**内部では春に芽吹くための力を蓄え**，**内なる熱意をもって美しく咲き誇るための準備を整えていた**のです。

中学校の３年間は面白いことや楽しいこと、つらいことや苦しいことがたくさんあります。しかし、その**一つ一つが美しく咲き誇るための準備**なのです。特にこの２年間はコロナ禍で大きな試練がありましたが、**大きく成長するためのチャンスだった**と考えると気持ちは違ってきます。

桜の花一つ一つは小さくて控えめながら、**力強く生きています**。満開に咲き誇ったときは、**美しさは何倍にもなります**。生徒たちもそれぞれが**自分の持ち味**を生かして成長し、中学校での３年後に、**みんなで笑顔で卒業してほしい**と願っています。

県中学校音楽コンクール「春の祭典」で２年１組が金賞受賞!!

１月16・17日（土・日）に宝山ホールで開催された標記のコンクールで、**２年１組**が16日に出場し、見事**金賞を受賞**しました。当日は無観客で行われたために、保護者の皆さんは入場することができませんでしたが、私は役員のために、会場で聴くことができました。**会場に響く豊かな歌声**に、うれしいやら、ホッとするやらでした。**本当によく頑張りました。おめでとう!!!**